

地震だ！あなたはどうする！？

・自分の身を守る
揺れを感じたら、すぐに頭を守りましょう。倒れてくる家具や落下物は大変危険です。



・すばやい火の始末
揺れが収まったらコンロの火を消し、ガスの元栓を閉めましょう。

・逃げ道の確保
ドアや窓を開けて、逃げ道を確保しましょう。

・家族の安全確認
声を掛け合い、お互いの状況を確認しましょう。

・火元の確認
身の回りで出火していたら、火が小さいうちに消し止めることが重要です。天井に火が届くような場合は、無理をせずその場から逃げましょう。

・ブレーカーを落とす
大震災での、火災の半数以上は電気に起因するものです。電源コード損傷部からの出火や停電復旧後に火災が発生する通電火災を防ぐためにも、避難する際はブレーカーを落としましょう。また、揺れを感知し、自動的にブレーカーを遮断する感震ブレーカーも効果的です。

・落ち着いて出口へ
家具やガラスの破片などでけがをしないよう、スリッパや靴を履き、足元にも十分注意しましょう。また、非常持出品を携行しましょう。

・近所で助け合う
ご近所同士で声を掛け合い、可能な範囲での初期消火や救出救助、避難が困難な人の手助けなどを協力して行いましょう。阪神淡路大震災では、生き埋めや閉じ込めから救助された人数の割合では、【自力脱出 34.9%】【家族 31.9%】【友人・隣人 28.1%】となっており、住民同士の助け合いにより救出されたケースが多いことがわかります。



・余震を警戒
大きな地震の後には余震が発生するので、注意しましょう。

・情報収集
うわさやデマなど誤った情報が流れることがあるので、情報には注意が必要です。ラジオなどで情報収集をしましょう。

・家屋倒壊などの恐れがあれば避難
ブロック塀やガラス、看板など足元にも頭上にも危険が潜んでいます。避難時は周囲の状況を確認しながら移動しましょう。

・避難生活
避難生活では、集団生活のルールを守り、助け合いの心をもって生活しましょう。発災後3日間は、外からの物資応援が期待できません。それぞれがご家庭で備蓄したものを使用しましょう。

関東大震災から100年 過去の震災の教訓から学ぶ

「防災の日」とは

1923年9月1日は、関東大震災が発生した日です。また、9月は台風が多く発生する時期でもあることから、防災への心構えを準備するという意味で「防災の日」が創設されました。そして、防災の日を含む一週間は、防災週間と定められています。今年も関東大震災から100年となる年です。関東大震災がどのような災害で、幸手市にどのような被害があったかを知り、想像し、地震に備えましょう。

関東大震災での被害を知る

- ・1923年9月1日午前11時58分相模湾北西部を震源とするマグニチュード7.9の巨大地震が発生。
- ・幸手市域の被害状況は、全壊戸数：662戸 半壊戸数：355戸 死者11人 負傷者25人 行方不明者4人となりました。
- ・埼玉県内では川口市・春日部市とともに県下三大被害地としてあげられています。
- ・関東大震災は、昼食の準備時間と重なったことから、火災が各地で同時多発的に発生したことが特徴ですが、幸手市域では、家屋の倒壊や小学校校舎の倒壊、橋梁落橋といった被害も発生しています。

地震災害に備える

震度による被害の違い

震度5強

- ・棚の食器や本など落下するものが多くなる。
- ・固定していない家具は倒れることがある。
- ・補強していないブロック塀が崩れることがある。

震度6弱

- ・立っていることが困難になる。
- ・未固定の家具の大半が移動。倒れるものもある。
- ・ドアが開かなくなることがある。
- ・壁のタイルや窓ガラスの破損、落下の恐れがある。
- ・耐震性の低い木造建物の中には瓦が落下したり、建物が傾き、倒れるものもある。

震度6強

- ・這わないと動くことができない。
- ・耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが増える。

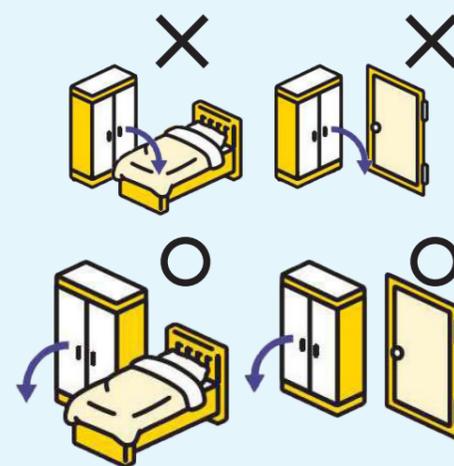
震度7

- ・耐震性の高い木造建物でもまれに傾くことがある。
- ・耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物は、倒れるものが増える。

今から始める我が家の対策

▼地震

- ・家具が出入口をふさいだり、転倒して下敷きにならないよう、家具の固定方法や配置を見直す。
- ・出入口付近に避難の妨げになるものは置かない。
- ・避難場所までの危険箇所の確認。



▼台風

- ・雨戸を閉め、飛来物や窓ガラスなどの破損物から身を守る。
- ・雨どいや集水桝などの掃除をしておく。
- ・風で飛んでしまいそうなものは事前に家中に運びこむ。
- ・マイタイムライン(避難行動計画)を作成しておく。
- ・住家の屋根や倉庫を点検し、強風で飛んでしまわないよう、管理する。

▼共通

○ハザードマップ確認
ハザードマップは、災害のリスクを把握するほか、避難場所の確認や、情報収集に役立つサイト紹介、災害時の行動や持出品の参考例などが確認できます。ぜひまいちど確認し、家族みんなが我が家の防災計画を話し合しましょう。



▲WEBで見る
ハザードマップ



○防災・防犯情報メール配信サービス
防災無線の放送内容をメールで配信しています。ぜひご登録ください。



▲から空メールを
送って登録

○災害用伝言ダイヤル(171)・災害用伝言版(WEB171)を体験してみよう

利用可能日時 ①毎月1日・15日、②8月30日(水)午前9時～9月5日(火)午後5時まで、③令和6年1月1日(月)～3日(水)、1月15日(月)午前9時～1月21日(日)午後5時まで

※安否確認方法の一つとして、体験利用で使い方をマスターしましょう。

問合せ 危機管理防災課 ☎(43)11111